

○今月の病害虫発生状況○

- ・ **うどんこ病**の発生はやや少ないです。
- ・ **アブラムシ類**、**ハダニ類**、**アザミウマ類**の発生は平年並です。

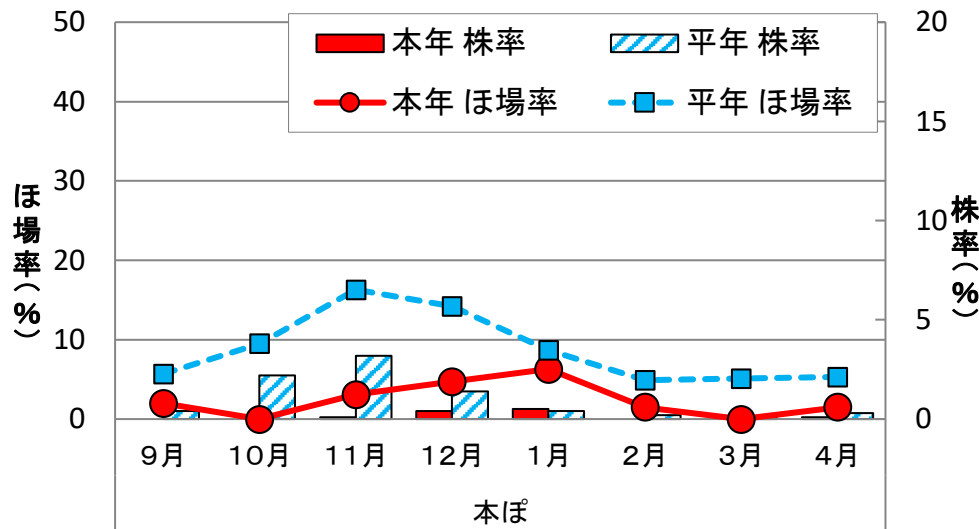


図1 うどんこ病発生ほ場率・株率

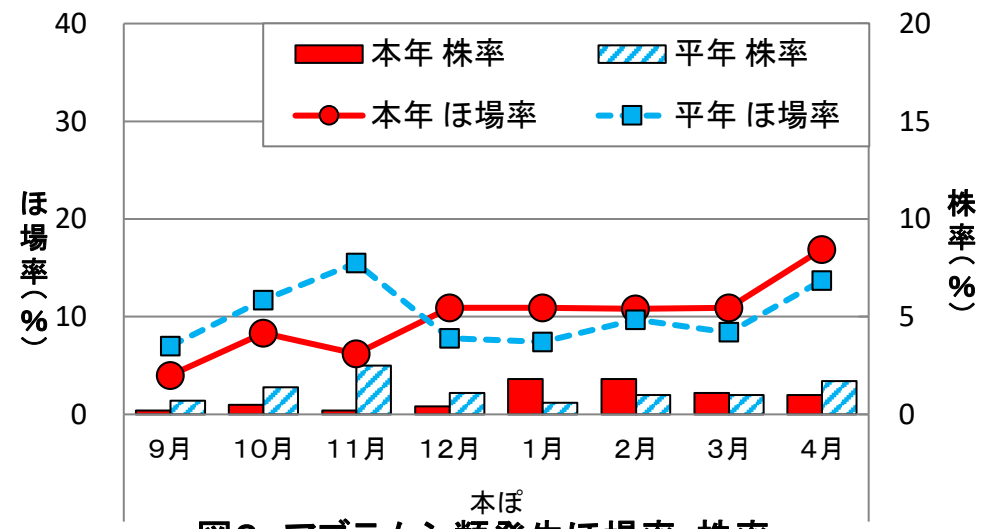


図2 アブラムシ類発生ほ場率・株率

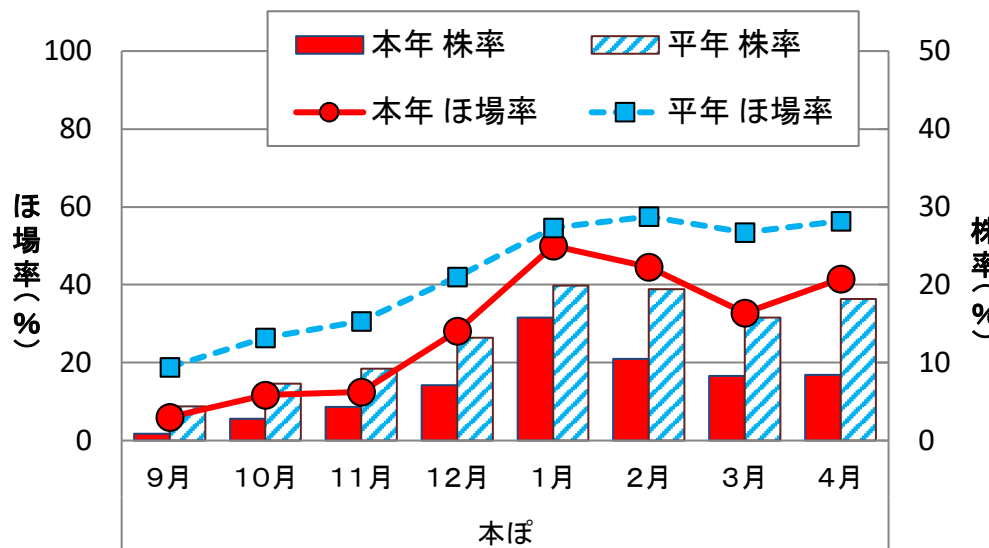


図3 ハダニ類発生ほ場率・株率

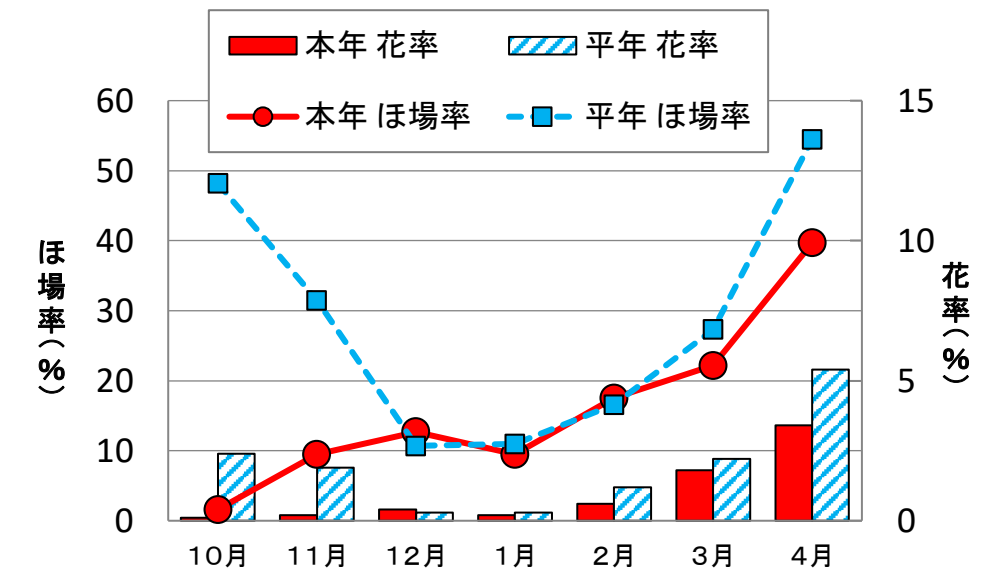


図4 アザミウマ類(花)発生ほ場率・花率

○今月の技術情報（技術指導班）○（4月）

・ 4月に入り、灰色かび病、うどんこ病等の病害の発生は少ない傾向ですが、ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類等の虫害の発生が見られるほ場がありますので注意が必要です。

・ 今後、水稻作業等も重なる繁忙期ではありますが、病虫害の急増するこの時期の防除が今シーズンの出荷量、販売額を左右します。

・ ハウス内の適正な温度管理、下葉かきなど病虫害の発生しにくい環境整備に努め、最後まで品質の良いいちごの出荷に努めましょう。

・ 令和3年産の親株は、葉の展開が3月下旬から、ランナーの伸長が4月中旬から確認されていますので、適正な温度やかん水管理を徹底するとともに、収穫中のほ場から病虫害を持ち込まないように、注意が必要です。例年、早いところでは5月に入ると炭疽病が確認されますので、4月から炭疽病、萎黄病のローテーション防除を始めましょう。



写真1 ワタアブラムシ



写真2 アザミウマ類による被害果